

令和5年度 椎葉村立椎葉中学校 学校自己評価書

本年度の重点目標	チャレンジの椎葉中！ ～「生徒がお互いを高め合う学校」へ～ 1 学力UPにチャレンジ！ → (1)授業にチャレンジ (2)家庭(寮)学習にチャレンジ (3)学習環境にチャレンジ 2 心の成長にチャレンジ！ → (1)「思いやりの心」にチャレンジ (2)表現(発表)にチャレンジ (3)ふるさとを愛する心にチャレンジ 3 健康にチャレンジ！ → (1)心の健康にチャレンジ (2)体の健康にチャレンジ (3)優勝にチャレンジ ※ 評価について 4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する
----------	---

項目	評価指標及び具体的目標	方策と手立て	自己評価			結果の考察・分析及び改善策等 【 ○成果 ●課題 ◎今後の改善策 】
			生徒	保護者	教職員	
学力UPにチャレンジ	(1)授業にチャレンジ：①② ・生徒調査 ・保護者調査 ・教職員調査	・「ひなたの学び」を意識した授業実践 ・一人一授業による授業改善	生徒 3.4 保護者 2.9 教職員 3.0	3.1	3.2	○問題演習における個に応じた指導を意識できた。(AⅠ型ドリル、自主学習) ●学力の二極化の解消が課題である。(特に1・2年生) ◎平均を下回る生徒やや下回る生徒の学力向上に焦点を当てながら、授業力改善を図りたい。  ○AⅠ型ドリルや手製のワークシート等を活用して家庭学習の充実を図った。 ○AⅠ型ドリルを導入し、授業以外でも積極的に活用する生徒が増えた。 ●最後までやり抜く力をもっと伸ばしたい。 ◎家庭(寮)学習の手立てやポイントを具体的に提示する。 ◎課題(宿題)の量が生徒の負担過重にならないように配慮していく。  ○ICT機器を用いて授業に興味を湧かせるような授業を行った。 ○特別支援、個別支援の視点を取り入れたICTの活用ができた。 ●本年度は置いてよい物は自主性にした。その結果、課題忘れが増えてしまった。 ◎更なる効果的なICT活用を研究していく必要がある。
	(2)家庭(寮)学習にチャレンジ：③ ・生徒調査 ・保護者調査 ・教職員調査	・タブレットの自宅や寮への持ち帰りによる家庭(寮)学習の充実 ・ロイロノートやAⅠ型ドリルの効果的活用	生徒 3.4 保護者 2.9 教職員 3.2	3.2		
	(3)学習環境にチャレンジ：④⑤ ・生徒調査 ・保護者調査 ・教職員調査	・ICT等を活用した授業改善 ・今年度より学習用具の持ち帰りを生徒自らが判断するように変更	生徒 3.6 保護者 3.0 教職員 3.4	3.3		
心の成長にチャレンジ	(1)「思いやりの心」にチャレンジ：⑥⑦⑧ ・生徒調査 ・保護者調査 ・教職員調査	・毎週木曜日の教育相談と毎月1回教育相談アンケートを実施 ・ロイロ相談箱の活用によるいじめ防止と早期発見・早期解決の推進	生徒 3.3 保護者 2.9 教職員 3.3	3.2	3.3	○教育相談や休み時間等を活用して生徒の話を聞くことができた。 ○車椅子バスケットボール体験学習に向けた道徳の授業を実施し、障がいがある人の立場に立って物事を考え、体験活動の充実を図った。 ◎さらにきめ細かい教育相談や悩み解決への手立てを考えて充実させていく。  ○3年生が最上級生としての言動が見られ、成長を感じた。 ●指名すれば発表できるが、自ら挙手をして発表できる生徒は固定化した。 ◎生徒会を中心に自主的・主体的な活動を更に推進するとともに、自分の意見をしっかり主張できるようになるための支援を行っていく。  ○いろいろな椎葉村の人や事業所等と関わったことで自分の将来像をつかむきっかけとなった。 ○椎葉に戻り働く意思をもつ生徒もみられ郷土を愛する心を醸成できた。 ◎椎葉村学コーディネーターの効果的な活用を考えていく必要がある。
	(2)表現(発表)にチャレンジ：⑨ ・生徒調査 ・保護者調査 ・教職員調査	・生徒の自主的・主体的な活動の推進 ・体育大会や文化発表会等の行事の活用による発表の場の確保	生徒 3.4 保護者 3.0 教職員 3.3	3.2		
	(3)ふるさとを愛する心にチャレンジ：⑩ ・生徒調査 ・保護者調査 ・教職員調査	・椎葉村学の充実によるふるさとを愛する心の育成 ・外部人材の積極的な活用によるふるさとを愛する心に対する深い理解	生徒 3.5 保護者 3.2 教職員 3.6	3.4		
健康にチャレンジ	(1)心の健康にチャレンジ：⑭ ・生徒調査 ・保護者調査 ・教職員調査	・毎月及び日常的な教育相談体制の充実 ・地域伝統行事へ積極的に参加し、地域の方々といふれあうことにより、心身の健康増進を図る。	生徒 3.3 保護者 3.2 教職員 3.5	3.3	3.3	○保護者や寮の職員と綿密な連携をとり、家庭や寮での様子の把握に努め、教育相談の充実を図ることができた。 ○地域の行事、部活動など主体的に取り組めた。 ◎地域柄、昔ながらの文化が残っている。良い伝統を引き継いでいき、時代の変化に合わせてかえていくべきである。 ◎ホームページの更なる充実を図り、積極的に情報を発信していく。  ○マスクの着用や換気の指導にあたり、病気や感染にリスクを抑えた。 ○生徒の心身の状態について寮職員とも情報を共有し対応できた。 ●季節に関係なく、水分をとらずに体調不良を訴える生徒がいた。 ◎生徒の健康観察の更なる充実を図りたい。
	(2)体の健康にチャレンジ：⑪⑬ ・生徒調査 ・保護者調査 ・教職員調査	・全職員による毎月1回の学校施設の安全点検 ・令和寮の職員や保護者との綿密な連携による生徒の健康状態の把握	生徒 3.5 保護者 3.2 教職員 3.3	3.3		
	(3)優勝にチャレンジ：⑫ ・生徒調査 ・保護者調査 ・教職員調査	・全職員による顧問・副顧問制による部活動の活性化 ・部活動休養日の確実な実施	生徒 3.6 保護者 3.5 教職員 3.1	3.4		